

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	シャープ・ノイズ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.560	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：シャープ・ノイズ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：クール・ノイズ

フレアーの幅 インチ

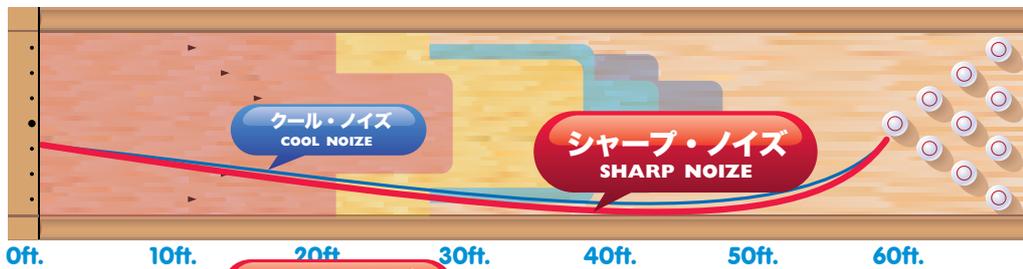
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

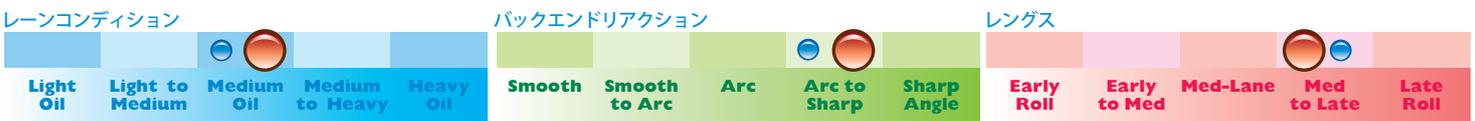
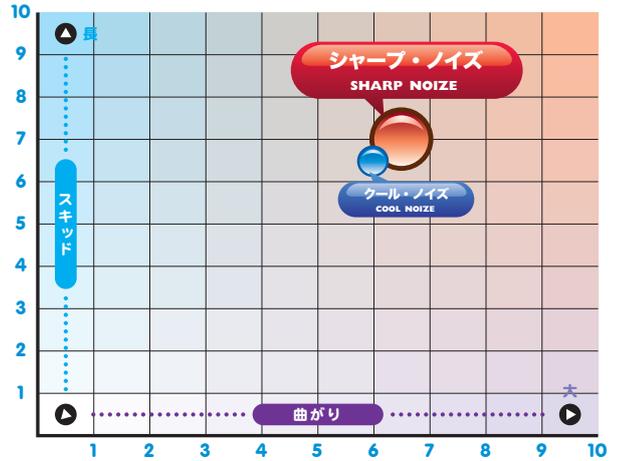
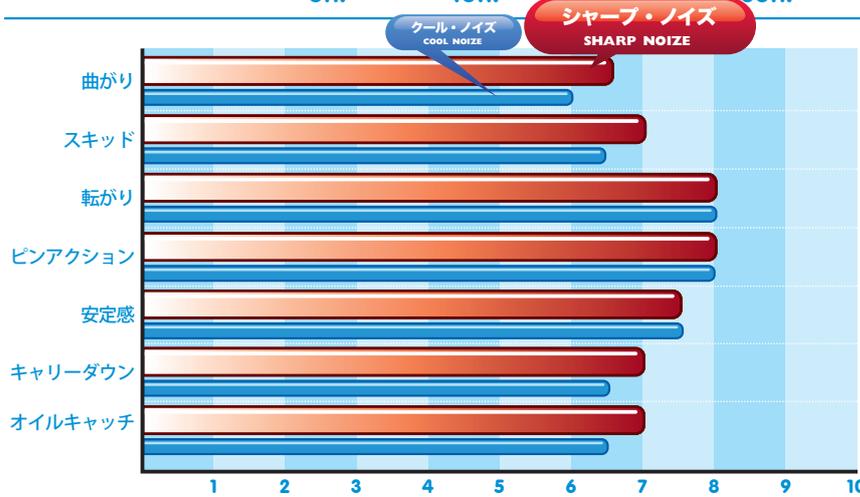
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

このSHARP NOISEは今まで発売されたNOISEシリーズの中で一番スキッドを確保するようカバーストックを再設定し、サイドローテーションにおける回転動力をその直進性を生かしバックエンドに反映させること。典型的なスキッド/スナップ性能であり、NOISEシリーズ中、一番シャープなアングルを取ることができる為、「SHARP NOISE」と名付けられました。

NOISEシリーズの特徴とも言えるTI-BOSSコアは、マスバイアス等大きく軸移動が出るコアが主流の中、極端に「ねじれ感」が出るコアではなく、スムーズな転がり感を出せるコアです。そのスムーズなコアの移動は扱いやすいリアクションへと変換されます。その扱い易さとシャープなリアクションを同時に兼ね備えるために、手前の薄いオイルでも直進性を失うことなく、且つドライゾーンでしっかりと掴むことのできるカバーストックの抽出がこのSHARP NOISEに集約されています。

ABSテスターでもある岡部直治プロは、このSHARP NOISEを気に入って使用しており、「最近のボールの中では一番の直進性と先での強さを感じる」と評価しています。私が投げたイメージでも手前のスキッドは軽く感じるものの、バックエンドでは動きがしっかりと見え、扱いやすさの中にメリハリがあり印象です。

対応コンディションはミディアム～ミディアムライト用で高回転を用いるボウラーからストロークタイプまで万能に使用して頂けるスペックでしょう。今回もお求め安いミッドプライスながら高品質のSHARP NOISE。

配色もとても綺麗でスピードが足りない方や女性にもきっと気に入って頂けるボールだと思います。

特記事項

薄いオイルでもスキッドしてくれるNOISEシリーズ最大の直進性を持った性能。扱い易さのなかにメリハリのあるリアクションを感じてください。